

～セアカゴケグモに注意してください～

1. セアカゴケグモ等の特徴と注意点

セアカゴケグモは、攻撃性のあるクモではありませんが、触ると咬まれることがあり、咬まれた直後は軽い痛みを感じる程度ですが、次第に痛みが増し、腹痛、胸痛がおこることがあります。まれに、嘔吐、発熱、高血圧、頻脈などの神経毒による全身症状が現れることがあります。

メスのみ人体に影響のある毒性を持っており、全体的に黒く、腹部背面によく目立つ赤色の模様があります。

体長は約 10mm 程度で、脚を広げると約 30mm 程度です。腹部下面には、ゴケグモ属の特徴である、砂時計様の薄赤色の斑紋があります。

また、卵のうは直径約 10～15mm で乳白色をしています。

オスはメスに比べ体が小さく、見分けがつきにくいいため、メスを駆除してください。



セアカゴケグモ（メス、成体）

2. セアカゴケグモの駆除方法

個体と卵で駆除方法が異なりますのでご注意ください。

2. 1 個体

靴で踏み潰すか、殺虫剤を噴霧して駆除してください。

殺虫剤は、市販されている商品で十分効果がありますが、数秒間は噴霧してください。

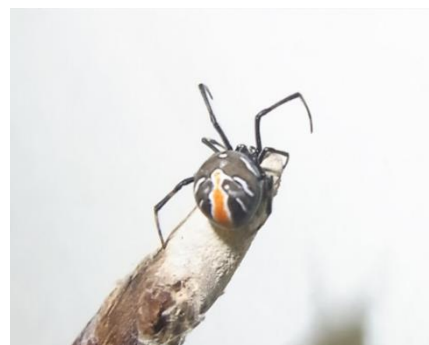
靴で踏み潰した場合には、靴底に個体や卵が挟まっていないか確認してください。

死骸は可燃ごみとして処分してください。

2. 2 卵

殺虫剤の噴霧では効果がないおそれがあります。

採取しビニール等の袋に詰めた後、飛び散らないように袋ごと靴で踏み潰し、袋を二重にし密閉し可燃ごみとして処分してください。



セアカゴケグモ（メス、亜成体）

※セアカゴケグモに咬まれてしまったら…

すぐに患部を水でよく洗い、医療機関を受診してください。

3. セアカゴケグモが営巣しやすい箇所

屋外で雨が直接当たらないような、人工物の隙間等に営巣する性質があります。また、比較的低い位置（地面から高くても 1m 程度）に不規則な網目の巣を作ります。

- ・排水溝（グレーチング内）、乗り上げブロック裏側、柵、パイプの隙間や内部

